朝日つむりん塾

第4回

塾長の想い

僕が子どものころは、親によく「手に職をつけなさい」と言われました。
しかし、今の子どもたちが社会人になる頃は、どんな仕事を選んでどんな技術を身につけても、その技術で一生食べていくことは難しいと思われます。

その理由は2つあります。
1つは事業の寿命がどんどん短くなっているから。
テクノロジーの加速度的な成長、変化のスピードによって、「これから生まれる事業で30年続くビジネスモデルはないだろう」と言われています。

もう1つは、人間の寿命が延びて
「お金を稼がなければならない期間」が延びるから。

世界では健康、栄養、医療、テクノロジー、衛生面などあらゆる点において技術が発展することによって、急速に長寿化が進んでいます。
過去200年間のデータを分析すると、約10年ごとに2年ずつ寿命が延びているそうです。
日本で2007年に生まれた人の平均寿命は『107歳』まで伸びる予測です。
70年代は55歳が定年でしたが、10年後には70歳までの長距離走になるでしょう。
さらに10年後には75歳までになるかもしれない。

「寿命が延びる」とは、即ち「お金が必要な期間が延びる」ということです。
ビジネスモデルの短命化と、人の長寿化。
この2つの要因によって、「1つのスキル、1つの専門知識、1つの事業で一生を食っていけた時代」が終わる と予測されています。

僕も4人の娘を持つ父親であり、「放課後スペースviva!」に来るたくさんの子どもたちに関わる者として、「現代の教育とは、80歳まで自力で稼げる人財を育てていくこと」だと強く感じています。

様々な有識者が「これから社会に出る若者は、少なくとも3つ以上の専門性を持たなければならない」と言っています。それらを掛け合わせることによって、そして時代の変化を捉えながら磨く強みを擦り合わせていくことによって、やっと安定した収入を得続けることが出来るだろうと。

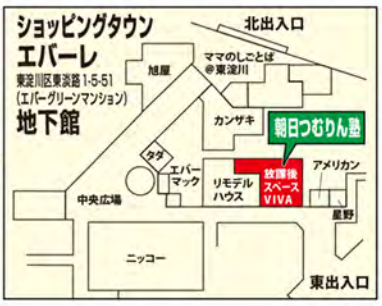
少なくとも3つ以上の「100人に1人」レベルの知識 or 技術を持つと、「100万分の1」の人財になれます。
これを「パラレルキャリア」「連続スペシャリスト」などと呼ぶそうです。

viva!の「宿題カフェ」は、そんなことを知る場所、考える場所、そして実際に様々なキャリアを構築している大人たちと出会うことによって、世界が広がる場所にしていきたい。
そして「朝日つむりん塾」は、学校の勉強の理解を深めて「選択できる可能性」を広げるとともに、そんなパラレルキャリアを築いていける『土台（価値観）』を学ぶ場所でありたい。
そしてその両方に、『新聞』や『マンガ』が「これでもか!」というくらい、大いに役立つと確信しています。

未来を創っていく子どもたちを疎かにする町に未来はない。

たかが新聞販売店が始めた子どもたちのサードプレイス（第三の居場所）がどこまでできるのか。
毎日が挑戦ですが、とてもやりがいを感じています。

朝日つむりん塾 塾長

朝日つむりん塾 塾長
本川 誠（ほんかわ まこと）
・昭和51年12月生まれ
・4人の娘を持つ父親
・朝日新聞の販売店を経営(スタッフ90名)
・地域を愛してシニアサポートを展開中!!

～地域で一番やさしい塾～
朝日つむりん塾
東淀川区東淡路 1-5-51（ショッピングタウンエバーレ 地下館）
無料体験予約受付中!
0120 0120-939-070
Mail : honkawa@tsumurin.net TELでの受付 月～金 9:00～17:00